

令和4年度 県立米沢養護学校西置賜校 「教員による学校評価」の集計結果

【回答者数：10名】

前年度比較…上昇：青色、下降：赤色

	番号	評価項目	「良い」「ほぼ良い」の割合		今後の対応
			R3	R4	
学校経営の重点に関して	①	生徒を真ん中に置き、人格・主体性を尊重した教育を推進していると思いますか。	91.7%	100%	今後も一人一人の発達段階に配慮しながら、生徒が主体的に考え行動できる学校生活を目指します。
	②	個別の指導計画を見直し、一人一人に応じた支援を行いましたか。	83.3%	100%	常に個別の指導計画を見直し、具体的な支援について複数の目で検討しながら妥当性の向上に努めます。
	③	生徒に必要な資質・能力を育成するため、専門性を生かし情報等を共有するなど、協働して取り組んでいると思いますか。	91.7%	100%	今後も「チーム西置賜校」として協働を推進していきます。
	④	中学校や中学部での学習成果に積み上げを図る学びの連続性を意識した高等部での教育課程が編成されていますか。	83.3%	70.0%	学びの連続性への意識が高まってきた表れとも言えます。中学校・中学部段階までの学習状況の丁寧な把握に努めます。
	⑤	生徒や保護者、地域、関係機関から信頼されている学校づくりと社会に開かれた教育課程が実現なされていると思いますか。	83.3%	100%	今後も機会を捉えて学校の取組、個々の生徒の学習状況、成果と課題等を丁寧に関係者に説明していきます。
	⑥	自立と社会参加に向けたキャリア教育を推進していると思いますか。	91.7%	100%	生徒の実態に応じて必要な事項を日常的に取り上げ、更なる充実を図ります。
	⑦	生徒個々に応じた、適切な心と身体の教育とICT機器等の活用や情報モラルを含んだ教育に取り組んでいると思いますか。	83.3%	90.0%	授業でのICT機器の更なる活用を推進します。併せて、教員の研修も計画的に進めていきます。
	⑧	長工高との連携、交流及び共同学習は充実していると思いますか。	50.0%	80.0%	今年度の合同ボランティアは2回とも雨天中止でした。来年度以降、交流先や交流の在り方を検討していきます。
	⑨	西置賜地区の特別支援教育の中核として、センター的機能が充実していると思いますか。	58.3%	90.0%	今年度は巡回相談の実績がありました。今後も地域の学校や社会のニーズに応えるよう努めます。
授業や評価等について	⑩	分かる授業、できる授業に取り組んできましたか。	100%	100%	授業づくりのPDCAサイクルを機能させ、今後も個に応じた手立ての工夫・改善を図っていきます。
	⑪	発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたか。	83.3%	90.0%	高校生・社会人としての対応・言葉遣い等を意識できるよう、教員自らが手本となる関わり方を心掛けていきます。
	⑫	生徒のサインや意思表示を大切にして関わってきましたか。	91.7%	100%	日常の生徒との関わりの中から小さな変化も見逃さず、生徒の気持ちに寄り沿った支援を行っていきます。
	⑬	「えがお(個別の指導計画)」は分かりやすい内容を目指しましたか。	90.0%	100%	学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の学習状況がより伝わるよう検討します(3観点での目標設定・学習評価の推進)。
	⑭	学校と医療や福祉関係機関との連携を十分に図ってきましたか。	72.7%	100%	外部機関との連携が必要なケースが増えています。今後も関係機関と連絡を密にし、積極的に連携を図っていきます。
	⑮	全職員が学部経営・学校経営に積極的に参画してきましたか。	75.0%	100%	全員で情報を共有し、課題意識を確認しながら共通理解の元に取り組めます。
	⑯	専門性の向上を目指して研究・研修に取り組んできましたか。	75.0%	80.0%	今年度はオンラインでの研修に積極的に参加しました。今後もオンライン等を活用しながら研修機会の確保に努めます。

令和4年度 県立米沢養護学校西置賜校 「保護者による学校評価」の集計結果

【回答者数：23名】

前年度比較…上昇：青色、下降：赤色

	番号	評価項目	「良い」「ほぼ良い」の割合		今後の対応
			R3	R4	
学校経営の重点に関して	①	子どもを真ん中に置いた教育を推進していると思いますか。	86.7%	100%	・今後も一人一人の発達段階に配慮しながら、生徒が主体的に考え行動できる学校生活を目指します。
	②	支援方針をもとに、一人一人に応じた支援を行っていると思いますか。	80.0%	95.7%	・常に個別の指導計画を見直し、具体的な支援について複数の目で検討しながら妥当性の向上を図ります。
	③	将来の自立と社会参加に向けて、生徒に合った支援がなされていると思いますか。	80.0%	87.0%	・生徒の実態に応じて必要な事項を日常的に取り上げ、自立と社会参加につながるキャリア教育を推進します。
	④	学級担任を中心として、組織的に学級経営がなされていると思いますか。	86.7%	95.7%	・学校生活の中心は学級・学年であることを確認し、担任間の意思疎通と共通理解に基づく学級経営に努めます。
	⑤	生徒や保護者、地域、関係機関から信頼される学校づくりをしていると思いますか。	86.7%	91.3%	・今後も機会を捉えて学校の取組、個々の生徒の学習状況、成果と課題等を丁寧に関係者に説明・発信していきます。
	⑥	長工高との連携、交流及び共同学習が充実するよう取り組んでいると思いますか。	83.3%	78.3%	・今年度の合同ボランティア活動は残念ながら2回とも雨天中止でした。来年度以降、交流先や交流の在り方を検討していきます。
授業や評価等について	⑦	分かる授業、できる授業に取り組んできましたが、いかがでしたか。	80.0%	100%	・授業づくりのPDCAサイクルを機能させ、今後も個に応じた手立ての工夫・授業改善を図っていきます。
	⑧	発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたが、いかがでしたか。	86.7%	95.7%	・高校生・社会人としての対応や言葉遣い等を意識できるよう、教員自らが手本となる関わり方を心がけて支援に当たります。
	⑨	生徒のサインや意思表示を大切にしてお関わってきましたが、いかがでしたか。	86.7%	95.7%	・日常の生徒との関わりを大切にし、小さな変化も見逃さず、生徒の気持ちに寄り添った支援を行います。
	⑩	「えがお(個別の指導計画)」は分かりやすい内容でしたか。	93.3%	100%	・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の学習状況がより伝わるよう工夫していきます。
	⑪	生徒は学校に登校するのを楽しみにしていますか。	86.7%	100%	・今後も、生徒が毎日を楽しみにし、自身の成長を実感できる学校生活を目指します。
御意見	<p>①いつも頑張ったところを評価していただき、さらなる目標を掲げ、どのようにしたらできるようになるか丁寧に教えていただいております。生活やモラルの部分で改善すべきところ、けじめをもつことやルールを守ること、本人が納得するまでご指導くださり本当に助けられています。 ・・・同様意見複数</p> <p>②販売会(川のみなど)で交流させていただきありがたいですが、売る・買う学習をちょっとでも本人にさせてくださると嬉しいです。</p> <p>③学習、特に国語と算数をもっと多く教えてほしい。</p> <p>④就労支援枠に収まらない子供の進路を考えた時、18才までという年齢制限の壁と学校ではない所の支援先がないため、県・市といった自治体の支援が欲しいです。そして、そういった自治体との連携の中で子供の進路を考えられる体制が欲しいです。</p> <p>⑤本人や保護者の意見に耳を傾け誠実に対応してほしいです。先生方も意見を押し付けて将来に希望や現実がわからなくなるようなことがないようにして欲しいです。日々、障がい者に対する日本社会の情勢が変化しているので、それに合わせた情報発信や指導をしてほしいです。</p>			<p>①今後も生徒が毎日を楽しみにし、達成感・充実感を味わえる学校生活を目指し精一杯取り組んでまいります。</p> <p>②感染症に配慮しつつ、販売活動等における実際場面での学習活動の機会をできる限り確保してまいります。</p> <p>③令和5年度より国語・数学を教科学習として教育課程に位置付け、取り組みます。</p> <p>④⑤多様な進路希望に応じた最新の情報収集・提供に努め、1年時から生徒・保護者の方との丁寧な相談に努めてまいります。また、現在の生活の充実と卒業後の生活へのスムーズな移行に向け、今後も福祉・労働等の関係機関との連携を図っていきます。</p>	